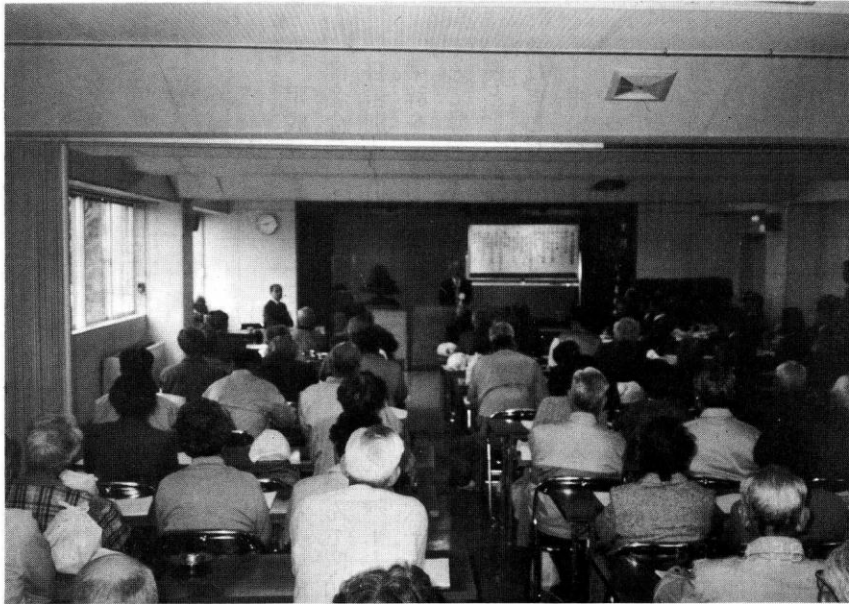


シルバー 人材センター会報

社団法人
流山市
シルバー人材センター
事務所
流山市東初石3-103-18
電話
0471-55-3669



平成元年五月二十五日
於江戸川台福祉会館

流山市シルバー人材センター
第十三回総会

会員と共に

及川 正一



このたび当シルバー人材センター前会長椎名清様が急逝されましたことにより平成二年三月末迄の間会長代行として重責

を担う職務を継承する事になりました。何とぞ故人前任者同様宜しくお願いいたします。会員の皆様方には日頃から当センター発展のため御尽力を賜りまして、深く感謝すると共に厚く御礼申し上げます。

尚、皆様も御承知の通り、我が国も高齢化が一層進み残された晩年を地域社会でいかに有意義に生きがいをもって過していくかと言う事が、大きな課題となって参りました。その選りどころとして、当センターの会員となった以上、過去の豊富な人生経験を活かして健康である限り頑張ろうではありませんか。終りにのぞみ会員皆様方の何分とも御支援と御協力をお願いすると共に、諸兄弟の益々御健勝であらんことを御祈念申し上げ御挨拶とさせていただきます。

痛惜

平成元年、流山市シルバー人材センターは第三代会長、故清水三朗様、第四代会長、故椎名清様ご両氏の訃報を聞く悲しい年となりました。

二月二十日清水会長が故人となられ、哀悼の意を表して書かれた椎名会長代行の原稿もいまは遺稿となりました。

訃報

第四代会長 椎名 清



故流山市第三代会長清水三朗様に慎んで哀悼の意を表します。

清水三朗様は、昭和五十七年三月、流山市高齢者事業団に入会し監事一期二年、その後昭和六十一年四月より第三代会長に就任いたしました。任期中、事務所の移転、会員の増強、受注の拡大に日夜

献身的な活動に尽力され、流山市シルバー人材センターの飛躍的な発展の基を築かれました。会員一同、心から感謝の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

平成元年十一月二十日、故椎名会長が永眠され、二十二日告別式(自宅)の当日左記弔辞を、及川会長代行が慎んで霊前に、当センターの代表として告別の言葉を述べられました。原文のまま

弔辞

つつしんで今は亡き流山市シルバー人材センター会長故椎名清様のご霊前にぬかずき告別の言葉を申しあげます。秋深く落葉ふる日急逝されました。故会長は大正五年、生を受けられ、昭和四年埼玉大

学教養学部を卒業爾来教育の道を一すじに高い理想と燃える情熱を明るい希望にたくして只ひたすらに、小学中学の教育にささげ昭和四十八年に教育生活を終えられる迄の幾多の功績を残されたことは万人のひとしく認めるところでございます。

教育会を退任後その卓越した「御けんしき」により、老後の社会育成にささげる信念は進んで昭和五十七年流山市シルバー人材センターに入会、昭和六十一年副会長に就任後引続き第四代目会長に就任されよくその重責をになわれ、その間わがセンターの刷新と合理化をはかり老人福祉の増進にたゆまぬ努力を続けて来られました。故会長の理念とその指導力により表れて来た業績の成果は誠に目をみはるものが有り私達は故会長の今後の更に飛躍されるであろう活躍にどれ程大きな期待をよせて会員一同老の胸をふくらませていたことでありましょ

うか……。しかるに十一月十六日突然倒れられてご家族の厚い看護のかいもなく又私達会員の只回復をとの願ひもむなしく永眠されましたことは誠に痛恨のきわみでございます。御本人とされても思いますがさぞ残念のこととご推察申し上げます。勿論ご家族の心中を思えば何ともお慰めの言葉もございません。しかし私達会員の深い悲しみの中で永遠に生き続けるあなたの魂と共に流山市シルバー人材センターの発展をどうか見守って下さい。今悲しくも幽明境を異にされた御霊前にぬかずき限りない追憶のまことをささげると共にひたすら御冥福をお祈り申し上げます。の辞といたします。

平成元年十一月二十二日
流山市シルバー人材センター
副会長 及川 正一

遺稿

流山市シルバー人材センターの発展のために

椎名 清

会員の皆様、日頃のご支援ご協力心より感謝いたします。本年度は、昨年同様の重点目標を達成するため一層のご協力をお願いします。

一、会員の増強

(一) 適性のバランス

地域の受注に地域毎の対応ができる会員を募集し新会員を歓迎したい。

特に南流山、中央部、東部

地区に一日も早く庭木の手入れ、除草作業の就労できる会員を求めたい。

(二) 健康な会員

早寝早起き、規則正しい生活のできる人、健康そして融和性、協調性のある人、互助協力は会員として最も重要な

要素と 생각합니다。

民主社会の構成員として個人の尊厳と社会連帯性をもとに新入会希望をした方と毎月面接懇談会を実施しています。

(三) 流山市行政の目標に副

う会員の募集

ふるさとづくり、街づくりの方向を充分勉強し地域発展に役立つ人材の掘りおこしに全力を傾注したい。

平成元年の当初会員数二四三名だったのが、十月三十一日現在二八四名となり誠に喜ばしい事ですが、是非とも本年度中に三〇〇名を突破し立派な新会員を迎えたい。

二、受注の拡大

本年度の目標は、八千万の受注を目標に努力しています。

従来の六千万は過去のこと八千万は夢でなく現実化した。会員は勿論、理事一同もこの目標には、真剣に努力しています。公共事業では、公園緑地課より年契約受注百二

十三万をはじめ基準単価の引き上げ、駐輪場、福祉会館管理者の増員、民間では岡本硝子さんをはじめ、清水建設さん等の大幅受注を戴き感謝に耐えません。

受注拡大において、特に考えたのは、発注者の固定化、定着化を重視したものです。見積りが容易なこと、人間関係が非常によいのでトラブルが少ない。喜ばれ、感謝されるような就労が重要で会員一同の研修と努力が必要ではないでしょうか。

三、管理運営体制の確立と強化

(一) 職員の健康と働く意欲の向上

(二) 時代に即応した新しい機器の導入

(三) 職員の任期と待遇の改善

全シ協、県シ協の指導と助言により安心して意欲ある職務を遂行するには、一層の改

善と研究調査室の設置を特に希望してやみません。

四、まとめ

シルバー人材センター会員は、現役を退き気ままな余生であってはならない。後継者の育成と市民に感謝される会員であればこそ、真の生きがいのある日々であって欲しい。

椎名清先生との出会いと別れ

流山市福祉部長 柏木謙介
「人生というものは、出会いと別れの連続なんだよ」
「教育という仕事、人の心に灯を点すことだ」

亡父がまだ元気だった頃、

土中学校の若き教諭であった椎名先生がよく訪ねてこられて、高校を卒業したら農業をやるつもりだった私に、学校の先生になれと熱心に薦めて下さった。

私は父の四十八歳の時の子だから、当時父は既に六十六歳で、戦後の俄百姓で頑張っ

ている父に、もう四年間我慢して大学にやってくれと云い出せず、辛い思いでお断りした。

その時、椎名先生が仰せになったのが、冒頭の言葉である。そして私が、四年間大学にゆく代りに、二年で帰って来てその間給料を送金するかという条件で父の許しを得て、貴重な二年間の社会勉強が出来たのも、椎名先生のお口添えがあったからである。

それから三十七年後、シルバー人材センターの会長として、市の担当部長という立場で再会して僅か数ヶ月、録なご恩返しも出来ないうちに、先生は卒然と逝ってしまわれた。無数の人々の心に灯を点し、無数の出会いの想出を人々の胸に残して。

今は只、ご冥福を祈るのみである。

業務部よりのお願い

業務部 三谷 和夫



シルバー人材センターの運営は補助金で賄われて居ります。

補助金の額は会員数と契約金額を勘案し四段階に分かれて居り、年間最高三一八〇万円、最低二二六〇万円で、当センターは最低のランクを受けて居ります。

補助金の上のランクの支給を受ける為には、会員数三〇〇名以上契約金額一億円以上が必要条件になります。之が為会長初め理事、事務局共々会員並に契約金額の増に努力を続けて居ります。補助金の増は器材機具の充実、職員の増加等により、業務活動が活発になり、業績の向上が計れ引いて事務費の一部は会員に何等の形で還元されるものと思えます。

特に女性会員には、家事の手伝掃除、福祉に準ずる仕事が増して来るものと思われます。現在、各部門で活躍される会員の方々は、頭初より自信を持って仕事につかれた方は極めて希で、皆予備知識もなく参加され、回数を重ねるにつれ自と自信が出来、働く喜びを体得し、生がいを得ている方が大半です。

「喰わず嫌い」の諺の通り進んで仕事に挑戦して見れば必ずよい結果が得られ社会参加の実感を得、毎日の生活が楽しくなるものと確信します。未就労の会員の方々は、健康の許す限りの範囲での仕事はないか、こう云う仕事はないか、と係に申出て戴き事務局での新職場の開拓の資にして頂ければと存じます。

本年度は会長、局長の計いで、市の公園緑地課よりの発注があり、処理能力次第では有望であり、国立の勤労者福

祉会館新設後には、全面管理依頼の話もあり、センターの新職場開拓も進んで居り、会員の方々の人、力、に期する処が極めて大であります。高齢化社会が急速に進行する今日、業務の仕事が、着々と地域社会に根づいて行く事を念願しています。

会員の皆様より会の発展の為、会の仕事につき忌憚のない御意見御希望を係にお寄せ戴く事をお願い致します。

以上



およろこび

会員の叙勲



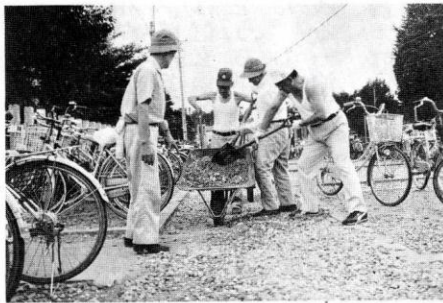
甲田実義さんが十一月三日宮中鳳の間に於て勲七等

青色桐葉章を授与されました。甲田さんは昭和十六年京成電鉄に入社以来、人命救助やパンタグラフの改良、京成・京浜・都営の三社乗入のレールの一本化と数々の貢献が上聞に達したものです。尚昭和六十一年一月当センターに入会後は機械刈除草を主に、特に流山市の浄水場の除草については責任者として長年に亘りご尽力されており、水道局から大変感謝されております。益々のご協力をお願いして止みません。

奉仕活動
クラブ活動発足

平成元年春の総会で承認された奉仕活動とクラブ活動がいよいよ始動しました。各々の部門に分かれ部長及世話役の人事も決まり、行動の日時、会場も決定しました。なお多くの会員の参加を歓迎します。ご希望の方は次の役員までお申込下さい。

クラブ名	部長	副部長
刀物	関戸省吾	小熊秀雄
表装	内山隆秀	穴倉安三郎
園芸	犬養吉胤	小倉武士
料理	熊谷美保	小熊富美子
習字	石山周司	牧野与四郎
囲碁	谷ヶ崎新一	会沢義正
民謡	茂木千代子	
舞謡	金子佐郷	
詩吟		岡本静枝



初石駐輪場清掃



奉仕活動
事務局庭伐採

初参加、研修旅行の心の
ふれあいに大感激

第二班 石山 文男

私は本年八月、シルバー人材センターに入会した西初石地区の石山と言います。入会后、始めて会員の皆様と会ったのは、九月二十八日の第二班編成のバスの中でした。九時丁度刻通り江戸川台駅前を約四十名を乗せて出発した。朝のテレビの天気予報では一両日とも雨との事、傘持参の皆さんが驚いたのは高速道路の事故による渋滞でした。柏インターより八潮パーキング迄、僅かな距離で二時間近くかかり、更に首都高速で一時間半都内を通り抜けるだけで、お昼過ぎになり、お陰で用意された飲物をきれいに平らげ、世話役の山田氏の司会によるカラオケ大会に車中大拍手の中で中央自動車道の高速に移り、折しも天候

は空は明るく、気分は上々、肉体系のガイド嬢の黄いろい声に時のたつのも忘れ、笹子トンネルを過ぎると眼の前は見渡す限りのブドウ畑に遠く右手に秩父山地、正面に南アルプスは雲の中で見えず、左手に御坂山地の山波は見えたり、かすんだり甲府盆地の大パノラマが広がり、浩然の気にひたりながら大自然の移ろいを感じました。

やがて車は甲府の街並みを右手に曲がると昇仙峡の看板が見えてきた。専用道路に入っている頃にゆるやかな上り勾配に小雨がちらほら、山の天気は変わりやすく、霧雨の中に様々な岩山の自然の造形美が次から次と織りなす山岳峡谷の素晴らしさに感無量。紅葉にはまだ早く山の空気のひんやりとした味わいの中でやっと昼食にくつろぎの時は過ぎた。さすがに約六時間のバスの往路に昼食後の散策には足も

がくがく、小雨降る中を土産物屋をひやかし或は滝見学に或はモノレールにと、それぞれ好きなコースに旅のふれあいを楽しみました。

石和温泉京水館についての午後五時すぎ、少し熱めの湯にひたりながら心身ともやすらぎを覚える。さあ今晚は大宴会だ。得意ののど自慢やかくし芸が披露され、拍手喝采誰もが心ゆくまで旅の一夜を味わい、各部屋とも自分の若い頃の苦労話とか、健康の秘結とか、子供や孫の話とか夜おそく迄話して花が咲きました。昔何にも無かったあの戦争時代の青春にくらべ、今日のこの豊かな世の中を健康ですごせる事のしあわせを共に喜び合ひ寝についた。

明けて二十九日、朝風呂につかり窓から外をみれば甲斐の山々がはつきり眺められ、澄みきった空気のうまさ、雲が切れて少し晴れ間の見える

絶好の旅日和、土産物を手記念写真をパチリ。甲府善光寺、ワイン工場、信玄の里、甲州ブドウ産地直買、等のコースを予定通り巡り、お昼食には信玄鍋名物ほうとうに舌鼓をうち早目に帰路につきました。お互いに楽しい思い出の残る一泊二日の旅でした。

研修旅行の
シルバーマドンナ



第一班 金子 佐郷

恒例の人材センター研修旅行で一班、二班と分れ、私は一班で九月二十五日、二十六日東部公民館七時三十分出発、市役所で全員合流し東京へて一路甲州御岳昇仙峡へ着く。風林火山の旗のもとで記念写真を撮り名物ほうとうの昼食、紅葉にはすこし早いがガイドさんの懇切な説明で昇仙峡見物、日本屈指の美しい溪谷、覚円峰、天狗岩、登龍岩、人面石、ねこ石、らくだ岩等奇石珍石で数えきれない程、切りたった断崖の間を流れる溪流の水際に観光道路がありトテ馬車が鈴を鳴らし、郷愁を呼ぶ。午後三時頃、天下制覇を目指し志なかげで、病没した名将武田信玄の武田神社へ、境内全域とその周辺若干は、武田信虎、信玄、勝頼三代六十年のつじが崎跡である。今でも四周の堀や土塁天守台などが残り、昭和十三年に中

世戦国代名の典型的居城として国の史跡に指定された、毎年、信玄公命日の四月十二日前後は、桃の花祭り、とよび甲府市あげて、川中島合戦国絵巻がひろげられるそうです。おとなりの藤村記念館（旧睦沢小学校舎）は明治八年に山梨県令（県知事）藤村紫明の木造二階建の洋風奨励の名残りの建築物で現在一階が民俗史料館、二階は絵画、写真室、県令室、教育資料室に分かれている。石和温泉は昭和三十六年一月突然葡萄畑の中から六十度と云う高温の湯が一日五十万ℓ湧き出し以来温泉と果樹の町として有名、四時半ごろ京水壮へ、六時半から懇親会、柳沢局長の名司会で會長始め皆さんのなごやかなたのしい和がひろがる。翌二十六日は善光寺へ。寺は周囲を葡萄畑に囲まれ豪壮な構えを見せる勅願寺で、本尊は銅造阿弥陀如来及び脇侍僧二組、

宗派は浄土宗で撞木造りの真暗な礼堂を長野の善光寺同様にも後生を願って錠をさぐる。私もさぐった。板縁で天井に鳴龍の外陣、その奥の畳敷二〇〇畳の中陣、内陣と別れている。十二時に恵林寺は夢窓国師の開山で臨濟禅の中心地で本堂裏に面積約二二〇〇㎡の庭園で夢窓国師の作庭で京都西芳寺（苔寺）天龍寺共に国師築庭の代表作で上段は枯山水、下段は心字池に築山を配した池泉回遊式庭園、天正十四年四月三日、近江の豪族佐々木義治をかくまったため織田信長の怒りにふれ金堂宇を焼き払われ名僧快川他衆僧百十四人、山門楼で焼殺された時「安禅は必しも山水をもちいず心頭を滅すれば火も自から涼し」を偈を唱え従容と死についた快川和尚の話は有名。六時半頃、家に着く歴史てきなよい旅行だった。

特集 地区連絡員座談会

十月十一日事務局二階広間で当シルバー人材センター発足以来初めての地区連絡員の座談会がありました。日頃連絡員としての体験から生まれる貴重な発言、応答があり、有意義な会合でした。

出席者（略敬称）
 （故）椎名会長、柳沢事務局長、（編集委員）麻生修、三谷和夫、（事務局員）山田富雄、渡辺キミ子、（連絡員）数字は担当地区

- ①白川源之進 ②渡辺政治郎
 - ③鈴木鶴三 ⑤武藤孝助
 - ⑥熊谷千一 ⑦高橋忠文
 - ⑧清水 一 ⑩鶴丸貴美男
- 座談会の内容（要旨）は次の通りです。連絡員発言者は④⑤⑥等とします。
- （会長）本年の総会で会員増を重要項目にあげたが会員のご協力をお願いする。連絡員は、書類配布等を通し会員の

実態をよく知っており、役員選出等の母体としての責任、義務もあり、地区の基礎固めに努めて頂きたい。

④新規入会者がある場合事務局から連絡がない。入会者の住所、氏名、本人の希望職種等を連絡員に知らせてほしい。（局長）新陳代謝が多かったこともあるが今後新入、退会の者がある都度電話で連絡する。

（麻生）現在会員の40%位の人が就労していない。全会員年間一件以上就労するように努力したい。そのため仕事に慣れた人が初めての人をリードするようにしてもらいたい。（局長）受注一覧表を事務局に張出し、連絡員の方にその実態を判ってもらい、仕事の実態も考えてもらい、仕事する人の片よりを解決したい。

⑤会員増について会長、理事長が老人クラブや福祉会館に老人が集まったところを訪ね

勧誘したらどうか。

(麻生) 遊びたい人の集まりに入会を勧誘しても効果はないと思う。

◎就労場所が遠い場合、送迎がないのは困る。

(麻生) そうした場合送迎はしている。知らない人がいるということは連絡ミスだ。

◎初めて一人で除草をしたがどの程度に仕事をしたらよいのか見当がつかない。当然何日で終わるかの見積も出来ない。

(三谷) 見積は経験を積まなければ出来ないことだ。

(山田) 大きな受注以外は見積まで手が廻らない。除草等は時給いくら、ということでは先方の了解を得ている。

◎東深井作業所の内職は工賃が安い。何とかならないのか。

(局長) こちらからお願ひして受注した経緯もあり、交渉してもよい返事は返ってこない。

(渡辺) 発受者もシルバーには注文を切らさない等考慮してくれている点もある。

◎草刈鎌を研ぐ時間を作業時間に計上し請求出来ないか。

(山田) 先方には請求出来ないが事務局支出とし 請求してよい。

(麻生) 奉仕活動、クラブ活動も発足し出した。園芸はすでに活動している。新年度は予算を組んでもらって家族参加の行事も計画している。こうしたことも地区懇談会で活しても会員の出席が悪く全会員に徹底しない点がある。

◎洗濯物の一般からの受注は出来ないのか。

(山田) 家事手伝をしてくれる女性会員が皆無だ。洗濯物を集配するとすればこれも大変だ。

(会長) クラブ活動の園芸はすでに活動している。収支は今赤字だが秋作を待てば赤字は解決する。この仕事は期

待されている。土工関係の大きな仕事に対応する下地となるし、園芸の作業には報酬も払っているので単に収支の問題以上に利点も多いと考える。レクリエーションのクラブ活動も具体的活動の準備が進んでいる。

(麻生) 来年度計画の中に互助会発足を考えている。

(局長) シルバー運営費として補助金を受けているがこれを使用する科目が適正でなければならぬ。旅行等にしてこれを互助会に振り向けて研修費という名目で使用する方が筋が立つ。今の慶弔規定も互助会規定に含まれることになる。

◎自転車整理について、市の交通課で我々に連絡なしに自転車に赤札をつけ、そのまま回収されないのか、かえって仕事やりにくい。

(会長) 駐輪場の仕事で市より初心者にどういう指導をし

て実務に送り込んでいたのか書類により返答を求められた。今迄初心者指導に手ぬかりがあった。先日江戸川台駐輪場で停電事故があった。これはこの事故に対応出来なかった交通安全課の運営に問題がある。放置自転車についてはシルバーより警察、交通安全課で対処すべき問題である。

◎自転車に対する悪質ないたづらが多い。空気を抜く、電車軌道に自転車を投げ入れる、サドルを抜いて捨てておく等のことがある。

(麻生) 警察の手を煩さねばならない犯罪である。

時間もきたのでこれで本日の座談会を終了とします。

以上でした。今後とも地区連絡員各位のご健闘を期待しております。

長寿の祝い



博学先生

還暦	古稀	喜寿	傘寿	橋寿	米寿	卒寿	国寿	櫛寿	白寿	百寿	茶寿	王寿	天寿
60	70	77	80	84	88	90	92	94	99	100	108	111	120
まだ若者だ	長寿の初歩	これから老楽の道	傘骨丈夫	天寿えの橋	米は国の宝	初老を卒業	もう 国の宝	櫛は人髪守る	百寿にあと一步	まだ遠い天寿	八十八からまた 千年	まさに長寿の旗がしら	万才ノ天寿王

事務局便り

地区懇談会

毎年十一月に開催しております地区懇談会は、平成元年度から、四月に開催することになりました。

四月十三日を皮切りに、四月二十八日迄五日間市内福祉会館五ヶ所で開催(別紙)会員が当日勤務で、出席出来ない方も若干ありました。

故椎名会長、及川副会長、麻生総務部長、地区担当理事が各会場へ出席されました。

◎故椎名会長挨拶

(1)全理事に御活躍を特にお願いし、会員の増強について取り組んで頂きたい。

(2)女子会員の増強について、会員の方が該当者に、シルバーへの入会することについて、一声かけてほしい。

(3)現在二二九名の会員ですが、目標として四〇〇名、受

注高を一億円として、Dクラスの脱皮を図る。

(4)会員に対する未就労対策も進めて行きたい。

(5)レクリエーション活動を推進し、会員の加入を図ると共に、会員が社会に貢献するためにも、奉仕活動を取入れたい。

◎麻生総務部長挨拶

我孫子市シルバーセンター見学の際得た諸問題、活動の分野の開発実施を、また奉仕活動の参加の呼びかけと、各地区懇談会の席上二〇分、三〇分に亘り、熱弁をふるわれ、シルバーの取り組み姿勢を強調された。

◎及川業務部長

「なんでもやる」の推進力となつて業務の拡張と実行、自から卒業して行方姿勢は、強く会員の胸を打つものがあると思う。

なりふりかまわず実行する熱意があつてこそと思う。と

かく人は過去の地位にこだわりの行動を狭くしがちな現在、センターの一員として、この精神こそ大切にしたい。また

過日見学の「松戸市いきがい事業団のリサイクル運動(自転車)の一環として、放置自転車の修理販売までの構想について業者とのかかわり合いを大切にしながら、進めて行きたいとの方針を打ち出されている。尚技術の研修も併せて折りにふれ進めて行きたい。

◎会員よりの要望事項

(1)各地区で最も要望の多かったのは、駐輪場関係であった。

(A)設備の充実と市役所各部との協力

(イ)市当局及び警察との協力

熱望

(ロ)利用者(特に高校生)

の態度

(ハ)会員の休憩所の設置要

望

(B)シルバー会合に市当局の

- 責任者を交えた話し合いの場を設けてほしい。
 (C) 趣味を生かしたクラブ活動を活発に。
 (D) 七〇歳以上の方への祝いについて
 (E) 諸連絡事項の徹底を(イ)センター内の紹介不足(ロ)日常業務についての交流をしてほしい
 (F) 技術の研修の場を設けること
 (G) 会員名簿の作成
 (H) 会員の慶弔通知をお願いしたい
 (I) 会員のアンケート調査の実施について
 (J) 会員の表彰制度を設けたらどうか
 以上今回の懇談会での会員よりの発言でした。

地区懇談会出席状況について

事務局員の紹介

事務局では業務の受注に対応するため次のおり業務職員の移動がありました。
 (新任職員)
 山田富雄(公共担当)
 西深井 817-5
 渡辺四郎(民間担当)
 鱈ヶ崎 955-5
 石山文男(民間担当)
 西初石 4-1410-36

地 区	会 員 数	出席人数	出席率
第1地区	21人	7人	33.3%
第2地区	27	4	14.8
第3地区	19	8	42.1
第4地区	41	14	34.1
第5地区	23	11	47.8
第6地区	30	14	46.7
第7地区	32	9	28.1
第8地区	14	5	35.7
第9地区	18	9	50.0
第10地区	14	6	42.9
計	239	87	36.4

(退職職員)
 河内正八(公共担当)
 西深井 179-22
 岡村三郎(民間担当)
 駒木 325-7

 河内、岡村さん、永い間ご苦勞様でした。お礼を申し上げます。

役職名	氏 名	住 所	電 話
会長代行	及川正一	流山市江戸川台西1-85	52-0223
理 事	山田富雄	” 西深井817-5	54-4543
”	小熊秀雄	” こうのす台1010-25	52-7495
”	麻生修	” 江戸川台西2-111	52-0249
”	金井一治	” 駒木台524	54-6446
”	名越輝彦	” 西初石4-1411-5	53-2818
”	血矢茂吉	” 流山4-381	58-1766
”	清水一	” 市野谷467-2	58-3887
”	渡辺四郎	” 鱈ヶ崎955-5	58-5036
”	金子佐郷	” 向小金3-145-10	74-3519
”	内山隆秀	” 西深井835-10	54-8339
”	三谷和夫	” 東初石4-141-51	52-8531
”	折笠竹治	” 西初石4-1424-54	53-2800
監 事	風間貞喜	” 十太夫99-58	52-0859
”	穴倉安三郎	” 江戸川台西1-195	52-4511

地 区 連 絡 員

地 区	氏 名	住 所	電 話
第1地区	白川 源之進	流山市平方28	52-7784
"	山田 富雄	" 西深井817-5	54-4543
第2地区	渡辺 政治郎	" こうのす台1072-18	53-0492
"	五十君 利	" 東深井東原871-124	52-3697
第3地区	麻生 修	" 江戸川台西2-111	52-0249
"	宇野留 馨	" 江戸川台西2-20	54-7478
"	鈴木 鶴三	" 江戸川台西4-8 <small>ピラエド アパート内</small>	54-2690
第4地区	鈴木 政信	" 江戸川台東2-286	52-0553
"	吉川 政雄	" 駒木台217-66	52-8975
"	茂木 嘉十郎	" 江戸川台東4-25	52-3637
第5地区	武藤 孝助	" 西初石5-8-19	52-5275
"	斉藤 喜久	" 西初石4-475-2	
"	本田 初五郎	" 西初石3-98-22	52-1732
"	前田 近徳	" 若葉台3-34	54-4186
第6地区	熊谷 千一	" 東初石3-98	52-3603
"	三谷 和夫	" 東初石4-141-51	52-8531
"	風間 貞喜	" 十太夫99-58	52-0859
"	竹内 国男	" 駒木1086-48	55-2750
第7地区	高橋 忠文	" 加1316-1	58-0884
"	血矢 茂吉	" 流山4-381	58-1766
"	花岡 実紀	" 加790-1	59-6209
第8地区	清水 一	" 市野谷467-2	58-3887
"	小室 重夫	" 野々下3-772-88	45-9555
第9地区	渡辺 四郎	" 鱈ヶ崎955-5	58-5036
第10地区	金子 佐郷	" 向小金新田145	74-3519
"	鶴丸 貴美男	" 松ヶ丘5-664-3	44-6427

地 区 別 区 分

第1地区	西深井・深井新田・平方・平方原新田
第2地区	東深井・こうのす台
第3地区	江戸川台西1, 2, 3, 4丁目・中野久木・富士見台1, 2丁目・北・小屋・上新宿新田
第4地区	江戸川台東1, 2, 3, 4丁目・青田・駒木台
第5地区	西初石1, 2, 3, 4, 5, 6丁目・若葉台・上新宿・南・大畔・谷・桐ヶ谷・上貝塚・下花輪
第6地区	東初石1, 2, 3, 4, 5, 6丁目・十太夫・美田・駒木
第7地区	流山1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9丁目・加・後平井・前平井・平和台1, 2, 3, 4, 5丁目・中・三輪野山
第8地区	野々下1, 2, 3, 4, 5, 6丁目・古間木・芝崎・市野谷・長崎
第9地区	思井・宮園1, 2, 3丁目・鱈ヶ崎・流山・木・西平井・南流山1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8丁目
第10地区	名都借・松ヶ丘1, 2, 3, 4, 5, 6丁目・西松ヶ丘1丁目・前ヶ崎・向小金1, 2, 3, 4丁目

事業実績

	63年	元年	%
期間	63.4.1～63.11.30	元4.1.～元11.30	
受注件数	975件	1,218件	125%
受注金額	45,316,610	55,330,943	122%

会員の皆様へ

作業日報には必ずお客様の確認印を頂いてから提出して下さい。

配分金の所得税法上の 取り扱いについて

このたび「所得税法及び租税特別措置法の一部を改正する法律」が公布され、うちシ
ルバー人材センター会員の配
分金に係る取り扱いについて
お知らせします。

記

一 会員の元年分の家内労働者等の事業所得に係る必要経費は、最低保障額が65万円（改正前57万円）に引き上げられることになりました。この改正に伴い、例えば会員の所得が配分金のみである場合、100万円（基礎控除35万円＋65万円）までの所得については所得税が課せられず、会員の年齢が65歳以上である場合には、老年者控除が50万円加わることになるので計150万円までの所得については所得税が課せられません。

二 他所得該当者は合算申告す

編集を終えて

皆様大変遅れました。十一月にお届けする予定でしたが故椎名会長の突然の訃報でやむえず急きよ編集内容を変更して故会長を忍ぶことになりました。ご了承願います。

さて初めての試みですが、各地区（一～十区）連絡担当の皆様の出席を願う日頃の体験を通じ色々なお話を発表していただく座談会を開催大変得難い意見を拝聴出来ましたので一読下さい。ありがとうございます。機会がありましたら今後も続けたいものです。事務局便りも暫くぶりにお届けしました。新発足のクラブ活動の発展を期待して居ります。激動の昭和に幕が降り歴史の節目の平成年代と二十一世紀に向けてスタートしました。会員数も三百名を数えるのも間近で当センターも一つの節目を越えて飛躍の年

と言えるでしょう。世界一の長寿社会になった我が国は25年先は四人に一人が老人だと宣言されています。センターでも大半が大正生れです。若人が少いと高齢者に頼らざるを得ません。健康と意欲で出来る仕事は続けて下さい。まだまだ畜積された知識や経験が物をいいます。いや今だから出来る事も大いにあります。ご活躍を祈っております。人生に引退はありません。健康のため、世のため人のため自分のために働く幸せを味わって下さい。発行が一寸遅れましたが次号は大いに頑張ります。皆様のご意見などお待ちしております。健康に留意下さい。最後に会長や会員で永眠された方のご冥福を心からお祈りいたします。

編集委員長 麻生 修
(合掌)